学校番号	1011

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史演習	単位数	２単位	年次	２年次
副教材等	ヴィジュアル日本史　（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我が国の歴史の展開にかかわる諸事象について多角的に捉え、これからさらに変わりゆく社会に対応できる力をつけることを学習の目的とする。副教材を有効的に活用して学習を進める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。
【思考力・判断力・表現力等】
・諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の歴史展開に関わる諸事情をもとに大きく変わりゆく現代社会の変化に対応できる力をつけようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かる効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，次期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ○考察，構想したことを効果的に説明し，それらを基に議論している。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	原始	○人類の出現と旧石器時代の日本列島について理解する。 ○縄文文化の特色や日本人の起源について理解する。	a:原始の多角的な時代背景を理解できている。 b:積極的に協同的な学習に取り組んでいる。 c:積極的に授業に参加しようとしている。	考査	考査	提出物、日頃の取り組み
	古代	○先史社会の展開から古代への時代の転換に着目して，東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史に関する資料から適切な情報を収集し，読み取る技能を身に付ける。	a:古代の多角的な時代背景を理解できている。 b:積極的に協同的な学習に取り組んでいる。 c: 積極的に授業に参加しようとしている。	考査	考査	提出物、日頃の取り組み
2	中世	○古代から中世への時代の転換に着目して，中世の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現する。	a:中世の多角的な時代背景を理解できている。 b:積極的に協同的な学習に取り組んでいる。 c: 積極的に授業に参加しようとしている。	考査	考査	提出物、日頃の取り組み
	近世	○織田信長とヨーロッパの関係から，地球的世界の形成についての理解を深める。 ○織豊政権による全国統一と，その政策の目的や意義について理解する。 ○近世の国家・社会の展開について，事象の意味や意義，関係性，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し，根拠を示して表現する学習を通じて，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解するとともに，思考力・判断力・表現力を養う。	a:近世の多角的な時代背景を理解できている。 b:積極的に協同的な学習に取り組んでいる。 c: 積極的に授業に参加しようとしている。	考査	考査	提出物、日頃の取り組み

3	近代	○幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し，近代の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現する。 ○江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程について理解する。 ○世界のなかの近現代日本に関する資料から適切な情報を収集し，読み取る技能を身に付ける。	a:近代の多角的な時代背景を理解できている。 b:積極的に協同的な学習に取り組んでいる。 c: 積極的に授業に参加しようとしている。	考査	考査	提出物、日頃の取り組み

	現代	○主題を基に，2 項「21 世紀の日本」に関わる課題（問い）を設定し，資料を用いて，事象の意味や意義，関係性などを多面的・多角的に考察し，表現する活動を通して，21 世紀の政治と経済について理解する。 ○8 節「新しい国際秩序と日本の課題」の学習について振り返るとともに，諸事象の解釈や画期を表現することを通して，現代の政治や社会の枠組み，国民生活の変容を理解する。 ○時代を通観する問い，仮説をふまえて，近現代の特色および現代の日本の課題について多面的・多角的に考察して表現するとともに，「近現代の地域・日本と世界」の学習について振り返り，次の学習へのつながりを見いだす。	a:現代の多角的な時代背景を理解できている。 b:積極的に協同的な学習に取り組んでいる。 c: 積極的に授業に参加しようとしている。	考査	考査	提出物、日頃の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度